



るんるん むだより♪

はなぐみ 2026. 2. 1



寒さが厳しい日もありますが、天気の良い日にはたくさん散歩に出かけた1月でした。まさに“子どもは風の子”。公園でたくさん走り回り、寒さを吹き飛ばすほど元気な笑顔を見せててくれています。まだ寒い日が続きそうですが、寒さに負けず、戸外でたくさん遊びながら、この冬を元気に乗り切っていきたいと思います。



～ことばについて～

月齢差の大きい1歳児ですが、最近では大人顔負けのおしゃべりをしたり、名前を呼び合ったり、大人と言葉のキャッチボールを楽しんだりと、言葉の広がりを感じています。

「入れて」「かして」「いいよ」など、場面に合った言葉も聞かれるようになり、微笑ましく思う瞬間も増えました。一方で、「やだ」「やりたくない」という気持ちは、言葉ではなく泣いたり怒ったりして表すこともあります。まだ自分の気持ちを十分に言葉にすることが難しい姿が見られます。そのようなときは、大人が子どもの表情や仕草から気持ちを汲み取り、「〇〇したかったんだね」「嫌だったね」と言葉にして伝えるよう関わっています。大人が気持ちを受け止め、言葉にして表することで、感情と言語が結びつき、言葉の獲得へつながっていきます。また、子ども達の行動には必ず理由があります。「どうして〇〇したいの?」「やめて欲しい理由は何か?」と気持ちに寄り添いながら関わることで、自分の思いや気持ちを少しずつ整理し、言葉にする力が育っていくと考えています。この日々の積み重ねが、気持ちを言葉で伝える力の大切な土台になっています。

～散歩ロープデビューしました～

ほし組と一緒に散歩へ出かける中で、「持ってみたい」と憧れていたお散歩ロープ。まずは、「ロープを持って歩くときの約束」を伝えてから始めました。興味と意欲が見られ、「ロープを最後まで持って歩く」という約束の話も真剣に聞いてくれました。ホールや廊下で練習を重ねるうちに、少しずつ上手に歩けるようになり、たくさん褒められて嬉しそうな子ども達。何度も園内での練習を行い、いよいよ公園まで行けることに。最初は少し不安もありましたが、ほし組に協力してもらい、数名ずつ散歩ロープを持って公園に行く練習を始めました。回数を重ねるごとにロープを持って歩くことに慣れ、先日ははな組だけで中組公園に行くことができました。「今日は、はな組さんだけで行くの?」「お散歩ロープで公園行くの?」と、ワクワクした表情で張り切って出発。横断歩道を渡る際には、ロープを握っていない反対の手を「ピッ」と上げて渡る姿も見られ、成長を感じました。

「今度は鶴巻西公園に行こうね」と子どもからリクエストがあったので、それを目標にこれからも頑張っていきたいと思います！！

